

2025 年度
一般推薦入試（法学部）
小論文（60 点 90 分）

問題 1

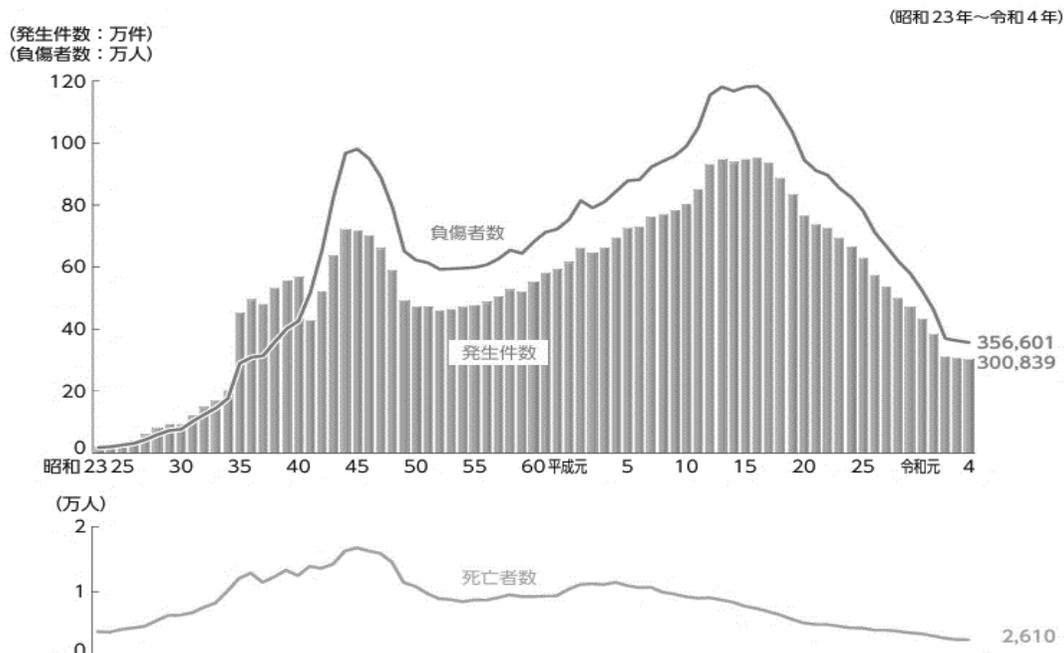
下記の資料（図）は、法務省『令和 5 年版 犯罪白書』（2023 年）173-174 頁に掲載されたもの（抜粋）である。

交通事故（道路交通法 2 条 1 項 1 号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故に係るものであり、昭和 41 年以降は、人身事故に限る。）の発生件数及び交通事故による死傷者数の推移（昭和 23 年以降）は、4-1-2-1 図のとおりである。

交通事故の発生件数（第一当事者（事故当事者のうち最も過失の重い者をいい、過失が同程度の場合は、人身損傷程度が軽い者をいう。）が自動車、自動二輪車及び原動機付自転車の運転者に係るものに限る。）の推移（最近 20 年間）を第一当事者の年齢層別に見ると、4-1-2-2 図のとおりである。

これらの資料（図）から読み取れることを 500 字から 600 字以内でまとめなさい。

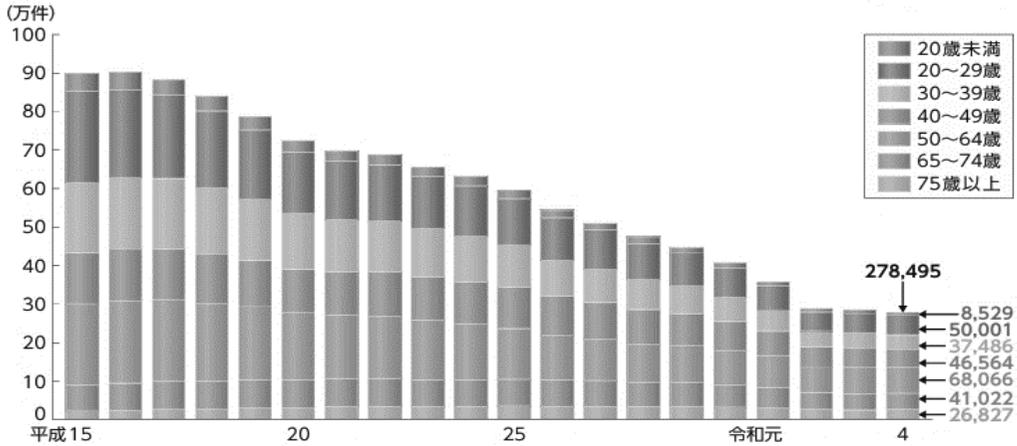
4-1-2-1 図 交通事故 発生件数・死傷者数の推移



- 注 1 警察庁交通局の統計による。
2 「発生件数」は、道路交通法 2 条 1 項 1 号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故に係るものであり、昭和 41 年以降は、人身事故に限る。
3 「発生件数」及び「負傷者数」は、昭和 34 年以前は、2 万円以下の物的損害及び 1 週間以下の負傷の事故を除く。
4 「死亡者」は、交通事故により発生から 24 時間以内に死亡した者をいう。

4-1-2-2 図 交通事故 発生件数の推移 (第一当事者の年齢層別)

(平成15年～令和4年)



- 注 1 警察庁交通局の統計及び資料による。
 2 「第一当事者」とは、事故当事者のうち最も過失の重い者をいい、過失が同程度の場合は、人身損傷程度が軽い者をいう。
 3 第一当事者が自動車、自動二輪車及び原動機付自転車の運転者に係るものに限る。
 4 事故発生時の年齢による。

問題2

下記の資料(図)は、法務省『令和5年版 犯罪白書』(2023年)174-175頁に掲載されたもの(抜粋)である。

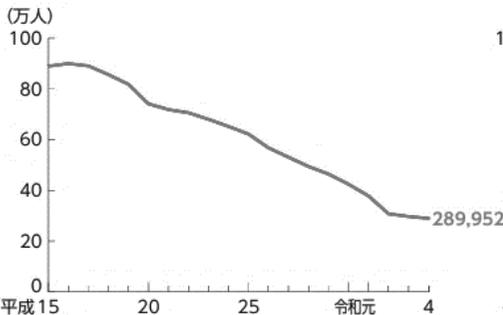
最近20年間の過失運転致死傷等の検挙人員の推移及び危険運転致死傷の検挙人員の推移を見ると、4-1-2-3図のとおりである。

危険運転致死傷は増加傾向にあるが、これを減少させるため、どのような方法や取り組みが効果的かについて自分の考えを踏まえて300字から400字以内で述べなさい。

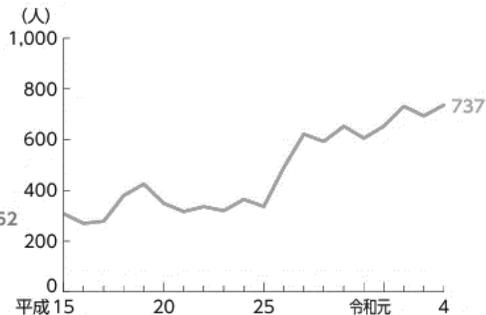
4-1-2-3 図 過失運転致死傷等・危険運転致死傷 検挙人員の推移

(平成15年～令和4年)

① 過失運転致死傷等



② 危険運転致死傷



注 警察庁の統計による。